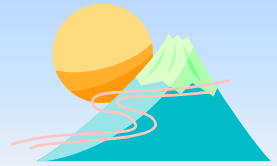


富士河口湖町立 教育センターだより

No.15



平成26年10月1日 文責 高尾久美子

目・耳・体全体で学んだ川の学習

今年もセンター主催で町の5年生を対象に川の学習を行いました。川の流れは、常に変わっていて危険を伴います。渡辺正利先生（前湖南中学校校長）と希代修先生（前船津小学校校長）にお手伝いしていただき各学校の引率の先生方と何人もの目で安全を確かめながら学習を進めました。



川の中流では、バケツで流れの速さを体験しました。また、川の内側と外側の流れの速さの違いや様子の違いを見たり体験したりしました。箱メガネで流れの様子も観察しました。

川の上流でもバケツで流れの速さを体験し、中流と比べることができました。



5年生で学ぶ川の働きである浸食・運搬・堆積を、見て聞いて体験して学ぶことができたと思います。

〈子どもたちの感想から〉

- ・川は流れて行くだけだと思っていたけど、削る働きと運ぶ働きと積もらせる働きの三つの大きな働きをすることが分かって良かったです。・・・川はいろいろな役割をしている働きものなんだなと思いました。
- ・今日分かったことは、①内側の流れが遅くて外側の流れが速いということ。②中流より上流の方が石や岩が大きいこと。③中流より上流の方が流れが速いこと。こんなにたくさん分かりました。①の実験では、笹の葉で船を作って流したらぜんぜん速さが違うことが分かりました。③の実験でバケツを引くことをしました。引っ張る力がすごく必要でした。②は中流の石が大きく感じましたが上流に行くと倍に大きくなってびっくりしました。
- ・ぼくは川の学習で川の流れの強さや水の深さが分かって良かったです。その中で楽しかったのは、笹の葉を流したこととバケツで水の強さが分かったことです。・・・川の学習で川には魚が多いけれど流れが強いということは分かったので、もし魚釣りをしたら気をつけようと思いました。
- ・私は、川の学習に行って初めて知ったことがあります。中でも工夫されているなあと感じたことは、「えんてい」です。川のあぶないことを守る働きがとても工夫されていることが分かりました。・・・雨や台風が来たら川の流れが速くなるので、危なくないように学んだことをいかしたいです。